

一九六五年八月二十五日
発行



第48卷 第5号 史学・地理学・考古学

- 仁斎学の形成……………三宅正彦(1)
——「同一の原理」と「弁証法的思惟」——
- 十三・四世紀におけるモンゴル軍のインド侵入……………恵谷俊之(53)
- サン・シモン、フーリエ 対 オウエン……………堀井敏夫(75)
——思想形成の仏英比較——
- 東大寺領撰津国猪名庄の歴史地理……………渡辺久雄(101)

研究ノート

- イギリスにおけるマキャヴェリズムの系譜……………柴山英一(128)
——ポーリングブルックの場合——

書評

- 田村実造著：中国征服王朝の研究 上……………島田正郎(144)
- 稲葉正就 共訳：フッラン・テプテル……………金子良方(148)
佐藤長

会告 学界消息

史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

会 告

北山丸太・西陣織・表千家・手がき友禅染・角屋

講師 京都大学教授 柴田 実氏

(参加会費 六〇〇円)

一、日本学術会議第七期会員候補者の推薦
来る十一月に、日本学術会議第七期会員選挙が行なわれます。史学研究会では、次の二氏を候補者として推薦いたしましたので、お知らせいたします。

全国区 (第一部)

木会理事・第六期会員

井上智勇氏

近畿地方区 (第一部)

木会理事・第六期会員

貝塚茂樹氏

一、史学研究会大会予告

次の日程で、本会及び読史会・東洋史談話会・西洋史読書会連合大会を開催いたします。多数御参加下さいませよう、御案内申し上げます。

◆十一月一日(月)午前九時～午後五時

見学会 京都の伝統をさぐる

京都の伝統を形づくるのは、もとより多くの要素からなりたっています。今回は伝統産業と伝統の美を探訪いたします。参加ご希望の方は、前もってお申込下さい。当日お申込の受付はいたしません。

◆十一月二日(火)午後一時より

於京大文学部第一講義室

史学研究会大会及び総会

秋田男鹿の発掘 ——平安時代の民家——

京都大学教授 福山敏男氏

孟子の井田制についての一解釈

京都大学教授 貝塚茂樹氏

◆十一月三日(祝)午後九時より

読史会・東洋史談話会・西洋史読書会 各大会

(備考) 大会出席のため出張依頼状を必要とされる方は、至急本会までお申出下さい。

会員各位

史学研究会

の検出は西第四堂の調査にまたなくてはならない。

〔M地区〕この地区には西第三堂に対応する東第三堂が位置するものと予想されていた。地表約五〇センチ下より西面に六個の根石、その東に四個の根石を検出し、またその西に凝灰岩の地覆石やその痕跡とさらにその外側の小石敷から階段跡を検出することもできた。また北に設けたトレンチから北面の中央の根石も検出できた。この北面の根石列の北には雨落の小石敷があり、建物の北面と北西隅を確認することができた。この建物跡は東面を阪急電鉄の路線・南西を畑地で削りとられ、その構成の全貌を明らかにすることはできなかったが、前回調査の西第三堂と対応させて復原すると、東と西の第三堂の中心軸線の距離は一一六・四メートルをはかる。

以上が今回の調査の概要であるが、今年は一九五五年に第一回の発掘調査が会昌門跡ではじめられてからちょうど十年になるので既調査の概括を行なうとともに今後の調査計画ならびに保存計画に関する調査団の構想も提示した。なお附图はこれまでの

調査の成果により長岡宮朝堂院を推定復原したものである。
(西川幸治)

4 鳥羽離宮跡

地名 京都市伏見区中島御所ノ内町前山町

期間 昭和四〇年一月二五日より三月一日まで

調査者 京都市文化財保護課 堤圭三郎担

当

昨年度調査した池汀が、更に南から西南方へのびる事を確認。また、やはり昨年発見した桁行八間、梁行三間、周囲に縁をめぐらした檜皮葺の建物に、その西南隅の廊らしき建物が接続する事が判明した。さらに、この遺構の東に苑道があり、庭石が布置してある事も知られた。

白河上皇の仙洞として応徳三年に造営された鳥羽離宮は南殿に当り、東北より西南に、証金剛院(御堂)、小寝殿(釣殿付廊)、寝殿、西対代、中門廊がならび、それらをつなぐ渡殿類や付属の廊や雑舎があった。今回調査の遺構は、証金剛院もしくは小寝殿のいづれかである。寝殿でない事は、『兵範記』仁平二年(一一五二)三月六日の条にある寝殿の指図と異なるのでたしかである。

(堤圭三郎)

委員会たより

◇お約束通りに、五号をお届けいたします。本号にて、刊行のおくれは大分にとりかえしました。あと一息で、「奇数月一日発行」にたち戻れると思います。

◇刊行をがんばりますと、今度は財政の方は火の車です。会費不足のある方は、よろしく願いました。

◇前号に、製本所の手運にて、一部落丁本がありました。監督不行届の点、深くおわびいたします。お手持の「史林」四八巻四号、五〇頁台をお調べ下さい(四九一六四頁が脱落しているものがあります)。万一落丁がありましたら、お取替いたしますから、ご返送下さい(ご返送の送料はもちろん当方にて負担いたします)。

一九六五年八月二五日印刷 定価三〇〇円
一九六五年九月一日発行

史 林 (第四八巻第五号)

発行所 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

理事長 田 村 実 造
振替京都五一五番

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区西七条御所ノ内町五〇

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLVIII, No. 5 Sept., 1965

CONTENTS

Articles :

- The Formation of the *Jinsai* 仁齋 Theory*M. Miyake* (1)
- The Mongolian Invasion into India in the
13 th and 14 th Centuries*T. Etani* (53)
- Saint-Simon, Fourier and Owen*T. Horii* (75)
- Historical Geography of *Ina* 猪名 Manor
under the Rule of the *Tôdaiji* 東大寺
Temple in the *Settsu* 摂津 Country*H. Watanabe* (101)

Note:

- The Lineage of Machiavellism in England*E. Shibayama* (128)

Book Reviews and News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan